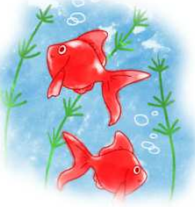


## 年間行事予定

定例会議・作業	・目田川モデル河川づくり作業	毎月第3土曜日	8時30分～(4月～9月)	
	・運営委員会	毎月第3木曜日	14時～(6月は、10時～)	
	・事務局会議	運営委員会開催週の月曜日	19時30分～	
	・環境情報発信事業部会	毎月第1木曜日	10時30分～	
	・環境保全学習事業部会	毎月第1木曜日	19時30分～	
	・定例水質調査	2月・5月中～下旬・8月・11月・田植え代かき時(5月上旬)		

## これからの活動予定

日時	活動内容	場所
8月20日(日)	水辺の楽校(夏編)	目田川河川公園
9月10日(日)	赤野井湾探検会	赤野井湾周辺
9月30日(土)	第2回水辺探訪講座	赤野井湾を知らう!
10月14日(土)	第3回水辺探訪講座	琵琶湖博物館
10月28日(土)	赤野井湾・小津袋クリーン大作戦	赤野井湾周辺
11月4日(土)	守山の水辺百選講座	野洲川上流
11月11日(土)	水辺探検隊(水生生物調査より改名)	豊穰事務所・市内河川
11月25日(土)	水辺の楽校(秋編)	目田川河川公園
2018年 3月4日(日)	赤野井湾・小津袋クリーン大作戦	赤野井湾周辺
3月24日(土)	水辺の楽校(春編)	目田川河川公園

### 訃報

鈴木 健司さん(理事)  
岡田 隆次さん(元理事)  
お二人とも当法人のためにご尽力くださり、ともに汗を流したなくてはならない仲間でした。心より、ご冥福をお祈り致します。



### しじみのひとりごと

#### 5年ぶりのほたるパーク&ウォーク

しばらく守山を離れていたの、久しぶりに守山のほたるを見ました。

最終日に無料のバスに乗り運動公園に娘と行きました。守善寺や土橋とは違い街灯が少ないので、こんなに星を見るのは久しぶりだねと娘と話しながら、月明かりをたよりに散策路を歩きました。川に落ちてしまうのではと思うような暗がりに、ほたるがふわり、またふわりと漂います。とても幻想的でした。そして行き帰りのバスの中ではガイドさんの話にほっこり！幻想的なほたるを久々に見れた嬉しさとバスの中での心温まるもてなしに、守山に帰ってきたという実感と、やっぱりいい街だな～と改めて思いました。 S.K

## おとなの部活始めます!

### 部員募集!!

この度、びわこ豊穰の郷では会員の皆さんが、色々な活動にご参加いただくためのきっかけづくりとして、「おとなの部活」を企画しました。  
あなたの「得意」なことで仲間づくりをしませんか?

#### カラオケ部

すでに活動を始めています!



#### 料理部



みんなで作って、楽しく食べよう!  
あなたの自慢料理を教えてください!

詳しくは豊穰の郷事務局までお問い合わせください!

## 認定NPO法人びわこ豊穰の郷 第14回総会

日時: 2017年6月3日(土) 14時00分～16時00分  
会場: 火まつり交流館(勝部)



### 持続可能なNPO法人をめざして!ワークショップを開催

総会終了後、これからの当法人の発展を考えるためのワークショップを行いました。4グループに分かれた出席者は、「びわこ豊穰の郷をもっと好きになるために」「参加したくなる活動とは」をテーマに、思い思い自由にアイデアを出し合いました。



ワークショップについての説明

このワークショップで集まった貴重なご意見は、集約したのち、会員の皆さんに報告する予定です。

また、今後の活動にも有効に反映させたいと思います。

6月3日(土)認定NPO法人びわこ豊穰の郷の第14回(2017年度)通常総会を火まつり交流館で行いました。審議事項の2016年度事業報告並びに決算報告、2017年度事業計画、活動予算は承認されました。



グループごとにまとめた意見を発表



熱心にワークショップに取り組む参加者



豊かに流れる河川を前に記念写真

## 針江生水(しょうず)の郷へ

2017年度先進地研修 7月9日(日)

澄んだ湧き水が暮らしを豊かにする素晴らしい「かばた文化」を誇る高島市新旭町針江へ行ってきました。この地区はほとんどの家庭が敷地内に自家湧水のかばたがあり、日常の暮らしの一部となっていました。

2007年にもここへ行っておりますが当時と比べると新築の家も多くありました。昔と変わらないのは、大川であり素晴らしいかばたであり、湧水の冷たくて美味しい事でした。ガイドの方が何度も「ここは観光地ではありません。無断で入ることはできません」と言っておられたのが印象的でした。そして生水の郷を守り続けていく為、住民の工夫と苦労や努力と理解が感じられた研修でした。

## 水辺百選めぐり;地点No42

### 小津袋で知られる琵琶湖内湖とその沖合の赤野井湾

小津神社北西部の杉江町地先の琵琶湖岸縁に大きく広がる内湖風の水域がある。かつては水域が袋のような形をしていたことから「小津袋」と呼ばれている。

この水域には天神川、石田の金田井川下流端から伸びる水域からの水が玉津小津漁協前から、また守山川の水がアジサイで知られる芦刈園の横から流れ込んでおり、琵琶湖赤野井湾とは湖岸道路沿いの「天神川水門」で繋がっている。かつて小津袋は琵琶湖湖上交通の要衝の地でもあり、現在の芦刈園横の水域は汽船が発着する「野洲浦港」であった。大正15年に開港され、当時は乗船客で賑わいを見せたが、鉄道や陸上交通の発展とともに昭和38年に廃港となった。現在、この水域に当時の松並木が残されていて、野洲浦港の面影を今に伝えている。



## ほたるの森のなかまたち

ほたるの森のほたる河川には、ホタル以外にもいろいろな生き物が住み着いています。そのひとつにトンボの仲間がいます。ゲンジボタルの飛翔が終わるころから、カワトンボ科のトンボがたくさん出てきます。写真はアオハダトンボと思われま。ほかにもハグロトンボもいて、ほたる河川全体で色々なトンボが毎年100~200匹くらい発生します。このように、たくさんの昆虫が生息できる、自然豊かなほたるの森です。



## \*\*\* 「ゲンジボタル」のお勉強しませんか? \*\*\* <2017年度 ホタル講座のご案内>

本講座はゲンジボタルの飼育およびその生息環境の学習を通して生態を学び、河川保護意識の普及および向上を目指すものです。

### 本年度の狙いと概要

第1回	9月2日(土)	開催時間 13:30 ~15:00	はじめに ほたるの住むまち守山およびその河川について
第2回	10月7日(土)		飼育について①ゲンジボタルの生態およびカワニナについて
第3回	11月4日(土)		飼育について②幼虫飼育の基本方法
第4回	12月2日(土)		飼育について③カワニナの飼育および給餌について
第5回	1月13日(土)		飼育について④蛹化装置、成虫飼育および事例紹介
第6回	2月3日(土)		外来生物、生物の多様性とは何だろう
第7回	3月3日(土)		河川観察 近くの河川にいてみよう
第8回	3月下旬から4月上旬(雨の日)		幼虫の上陸を観察 20:00~21:30

**対象** 守山市内在住または通勤通学の中学生以上の方  
 ※小学生は保護者同伴なら可(付き添いは無料)  
**募集人数** 定員10組先着順  
**場所** 守山市ほたるの森資料館展示室および市内河川  
**参加費** 3000円(テキスト代は含まれています。)

**【申込/お問合せ】** 守山市ほたるの森資料館まで  
 電話、FAX、e-mailにて受け付けます。

### 守山市ほたるの森資料館

〒524-0051  
 守山市三宅町10番地(守山市民運動公園内)  
 電話・FAX (077) 583-9680  
 URL: <http://www.lake-biwa.net/hotarunomori/>  
 メール [hotaru@lake-biwa.net](mailto:hotaru@lake-biwa.net)



## 2017(第14回) 守山ほたるパーク&ウォーク

開催日時: 5月20日(土)~5月28日(日)

今年も恒例の守山ほたるパーク&ウォークを5月20日(土)~28日(日)まで開催しました。

各々関係者が責任を持ち、がんばっていただき無事終了することができました。私達ガイド部会は高谷部会長を中心に十数名で五日間バスにガイドとして乗車しました。最初に簡単なイベントの取り組み、当日のホタルの飛翔状況・見どころ等を説明しました。観賞者は守山市民が多い中、遠く大阪・京都・大津と幅広くお見えになっていました。

特にバスの乗り降りは、バス停のガードマンの指示のもと安全には最大の注意を払いました。今年のホタルの飛翔は土橋・目田川は比較的少なく、三津川・ほたるの森資料館は多く飛んでいました。

ホタルを見学され、バスに乗車された方々に感想をお聞きしたところ「ホタルを初めて見て大変感激した」という大津の主婦の方や草津より来られた若いお母さん、「また来年もぜひ来たい」という男子学生の声を頂き、ガイドとして大きな励みになりました。

後日反省会には色々意見が出されました。これらをしっかり受止めて、ぜひ改善すべきところは見直して、来年へとつなげていきたいです。



### 【はじめて見たよ!!ゲンジボタルの幼虫】

守山ほたるパーク&ウォークの開催に併せて今年も「もぴかの家」がオープンしました。初日から多くのホタル観賞者が訪れました。ゲンジボタルの地域、保・幼稚園、高校の飼育活動、中学生の特定外来生物オオバナミズキンバイの調査研究活動のパネル展示、ホタルの折り紙教室も大好評でした。ゲンジボタルの幼虫の水槽展示では「幼虫をはじめて見た。気持ち悪い!これがホタルに!」とお驚きと感激度々、又「ホタルが棲める河川環境ってどんな川」のジオラマを作製展示して観賞者に知識を深めていただくことができました。

お土産物として、守山のホタルの絵はがき、もぴか缶バッジ、もぴかクッキー、もぴかどら焼き、もぴかおにぎりも好評で、初夏の風物詩のひとつでありました。これからも市内の河川にはホタルが飛び交う水辺環境を市民とともに、後世につなげていきたいものです。

